

安全なインターネット利用のための ルール策定に向けて

安全なインターネット利用のためのルールの策定に向けて、学校や家庭で活用できる資料を作成しました。1人1台端末の利用も増えてきていることから、活用の幅の広がりを踏まえてルールを新しく策定することも考えられます。学校の実態や発達の段階に応じたルールの策定をお願いします。

事例1 「これをしたい！」から始めるルールづくり

- ① インターネットを使って「したいこと」を挙げる。
- ② 「したいこと」について、「うまく使えた場合のメリット」、「うまく使えなかった場合のデメリット」を考える。
- ③ デメリットを減らす観点から「うまく使うための工夫」を考える。



前向きな気持ちでルールづくりに取り組むことができるよう、
「うまく使うための工夫」を考える活動を

事例2 マイポリシーを考えよう！

- ① 学校や学級の中で起きている、インターネットに関連した課題を挙げる。
- ② どのような気持ち・意識でインターネットを使いたいかを話し合い、各自が「マイポリシー」をつくる。



行動を制限する印象が強くないよう、
子ども自身が「どのように使いたいか」を考える活動を

ルールづくりのポイント

1. ルールは具体的に

「嫌な言葉を送らない」では、人によってその基準や程度が異なるので、具体例を話し合い、盛り込むなどの工夫をする。

2. ルールをつくる理由を共有

なぜそのルールが必要なのか、ルールが守られないとどのようなことが起こり得るかを作成時に共有する。

3. 守れなかった時にどうするか

決めたルールを守れなかった時にどうするかを、ルール作成時に決めておく。



ルールの具体例 1人1台端末の場合

下記は他の自治体や学校で策定している1人1台端末の利用ルールの一例です。学校の実態や発達の段階に応じてルール策定の参考にしてください。

利用目的	学習以外の目的で使用しない。	場所や時間	決められた場所や時間に使う。
	学習に関係のないウェブサイトを開かない。		不安定な場所や、不安定な姿勢で使わない。
	持ち帰るときは、家族も含めて他の人に貸さない。		授業時間以外での利用については先生に確認する。
取扱	使わないときは決められた場所にしまう。	カメラの使用	相手の許可なく、人や持ち物を撮影しない。
	こわさないように丁寧に使う。		先生が許可した目的以外でカメラを使わない。
	持ち帰るときは、濡れないように気を付ける。		誰かを撮影するときは、必ず本人の許可を得る。
	片手で持ったり、持ったまま走ったりしない。	健康	30分間に1度は遠くの景色を見るなど、目を休ませる。
	日光の下や暖房の近くなど、高温になる場所には置かない。		使うときは、良い姿勢で画面から目を30cm以上離す。
	持ち帰るときは、登校中、下校中に端末を取り出さない。		寝る前の～時間は端末を使わない。
その他	相手を傷つけたり、嫌な思いをさせる書込をしない。 ※具体例を盛り込むとよい。	あやしいウェブサイトに入ってしまったときは、すぐに画面を閉じ、先生に知らせる。	
	自分や他の人の個人情報(名前、住所、電話番号、写真など)はインターネット上にあげない。	撮影した写真は、先生から許可された目的以外でインターネット上にあげない。	
	先生から許可されていないアプリやサービスを使わない。	自分のIDとパスワードは自分だけが分かる場所に書き留めておくなど忘れないようにする。	
	こわれたり、なくなったりしたときには、すぐに先生に知らせる。	パスワードを他の人や友だちに教えない。	

ルールの具体例 家庭用端末の場合

下記は他の自治体や学校で策定している家庭用端末の利用ルールの一例です。
各家庭でのインターネット利用に関するルール策定の参考にしてください。

利用時間	スマホやゲームの一日の合計利用時間、使わない時間帯を決めよう。	使う場所	インターネットにつなぐときは、家族と一緒にしよう。
	寝る～時間前からは、使ったり、遊んだりせずに目を休めよう。		お風呂や布団の中には、持っていかないようにしよう。
	寝ているときに気にならないように、寝るときは電源を切ろう。		スマホやゲーム機はリビングなど決められた場所に置こう(なるべく自分の部屋に置かない)。
個人情報	自分(他の人)の名前や学校名、写真などは公開しない。	コミュニケーション	他者に送ろうとするメッセージや画像が、見た人が不快に感じたり傷ついたりする内容ではないかを確認めよう。
	自分のIDやパスワードを他の人に教えない。		メッセージを送るときには、相手や見る人の気持ちになって、何度か読み返してから送信しよう(心配な場合は家の人に確認してもらおう)。
	SNSに、自分が特定されるような写真、情報はのせない。		友達や家族と過ごしているときは、スマートフォンやゲーム機などの使用は控え、会話を大切にしよう。
セキュリティ	ブロック機能・フィルタリングを使おう。	お金	インターネット上でお金を使うときは、必ずお家の人の許可をもらおう。
	危険を感じたら、その場で操作を止めて家族に相談しよう。		インターネット上で物の売り買いをするときは、必ずお家の人と一緒にしよう。
	不必要なアプリのダウンロードはやめよう。		お金で購入したゲーム内のアイテム、スタンプなどを友だちに送るのは控えよう。
その他	ネット上の情報はすべて真実とは限らないので、本当かうそかを確認するようにしよう。	インターネット上のやりとりでトラブルになったとき、トラブルになりそうときには、お家の人に相談しよう。	
	歩きながらスマホを使わない。	マンガやテレビのキャラクターなど、他の人の著作物を勝手に使わない。	
	ネット社会以外の活動に目を向けて、リアルな体験をしよう。	インターネットを使っていて困ったこと、苦しいことがあったときは周りの大人に相談しよう。	